

育苗時に注意が必要な点をまとめました！

＜種子休眠について＞



・昨年度産の種子は、登熟期の高温により、
休眠が深い可能性があります！（ヒノヒカリは特に注意）

・浸種時の水温10℃以下では二次休眠を誘発するため、
10℃以下にならないような管理をしてください。

＜例＞ 浸種を日当たりに良い場所で行う

・例年の浸種日数では、鳩胸までならない可能性があります。
浸種後のハトムネ確認を徹底してください！

＜苗立枯病について＞

（多発条件）

密植・高温・多湿条件下や傷粃の混入が多いと多発します

（特徴的な症状：病原菌によって症状が変わってきます）

- ・フザリウム属菌 … 地際に白～紅色の糸状菌がみられる
- ・ピシウム属菌 … ムレ苗のような症状
地際にカビがみられない
- ・リゾープス属菌 … 培土表面が白色の菌糸に覆われる
- ・トリコデルマ属菌… 青緑色のカビがみられる

（対策農薬：病原菌にあった農薬の散布を行ってください）

病原菌名		苗立枯病			
		フザリウム	ピシウム	リゾープス	トリコデルマ
対象農薬	タチガレン（液剤・粉剤）	○	○		
	タチガレエースM（液剤・粉剤）	○	○		
	ダコニール1000			○	
	ダコレート（水和剤）	○		○	○

※上記の病原菌は一例です。他にも苗立枯病の菌はあるので、注意が必要です



豊肥振興局HP
からカラーで見
れます！

大分県農業協同組合豊肥営農経済センター 営農部 農産課 63-4994
大分県豊肥振興局生産流通部 集落営農・水田畑地化第二班 63-1301